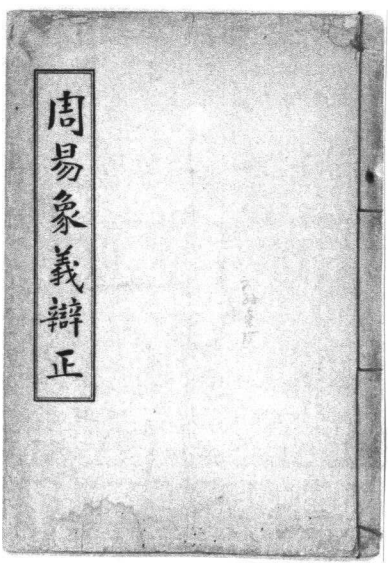


根本羽藏、幼名儒者、文學博士。文政五年二月十五日出版國仙北郡刈
 刈野村生れ、明治二十九年十月二日歿（八三—一九〇六）。講通明、字子
 龍、通稱周助。別號蓮翁。藩賢明德館の塾生、安政五年教授。一方私
 塾をもちて學を授けしむ。戊辰戰はるる奉行格の中陣。明治五年秋田縣權大藏、
 七年大藏其の職を失ひ、官の途を閉用海を經て、二十八年帝國大學士文科
 大學講師、りち教授。この間根本義塾創設。初め朱子學を奉じ清朝考
 證學を講じしむ。易學卷としてこれを知名。

其の著するもの著書は講義書『根本通德論』二卷・明治四十四年九月八日、下
 巻・十一月の二十八日博之館、上巻・明治四十四年九月八日、下
 二、四年四月（十一月）の出版、無刊註（等）。根本祖澤論、羽藏高風（材
 錄）三十三頁二條（『大正四年』）の出版、大正四年四月（十一月）の出版。



周易象義辯正